

# 平成26年度前期芦安中学校学校関係者評価書

平成26年9月12日

芦安地区学校関係者評価委員会

委員長 金丸 クリスティ



## 1 経過

第1回芦安地区学校関係者評価委員会

日時：平成26年8月29日(金) 19:50~21:00

場所：芦安中学校 多目的ホール

## 2 参加者 評価委員4名 小学校3名 中学校3名

No.	氏名	役職名	備考	
1	伊東 隆雅	芦安地区保護司 白雲荘経営		
2	市川 勝一朗	芦安小中学校PTA副会長	副委員長	
3	金丸 クリスティ	芦安小中学校PTA会長	委員長	
4	森本 章雄	芦安地区学校応援団代表		
5	浅川 孝夫	芦安小学校	校長	
6	深澤 茂弥		教頭	事務局
7	河住 悦久		教務主任	
8	中込 幸二	芦安中学校	校長	
9	笠井 知幸		教頭	事務局
10	中嶋 恵		教務主任	

## 3 学校から提案された内容

[前期中学校自己評価の分析と改善方策]

- (1) 前期(7月)職員アンケート結果
- (2) 前期(7月)生徒アンケート結果
- (3) 芦安中学校教前期自己評価書
- (4) その他

## 4 協議された主な内容

- (1) 学校の様子全般についての質疑
- (2) 前期アンケート結果についての質疑
- (3) 自己評価の結果を踏まえた今後の改善方策についての検証
- (4) 今後の芦安地区の教育のあり方について

## 5 評価委員会が出された主な意見・質疑

### (1) 学校の様子について

- ① 「中学校の英会話科の様子について教えてほしい。」 → 各学年の週4時間の教科の英語の授業とは別に、年15時間全校生徒が一つの教室に集まり、職員も加わってゲームなどを用いてのコミュニケーション能力の向上を図っている。授業の前には職員間で綿密な打ち合わせやシュミレーションを行ったり、終了後は反省会を行うなど万全の体制をしいている。これ以外にも合同朝の会の司会やスピーチを英語で行ったり、教室等の掲示物を英語表記にしている。生徒による全校放送も英語で行っている。小中連携という点では、英語による小中合同朝の会並びにイングリッシュゲーム、さらに中学生による英語の絵本の読み聞かせなどを行ってきた。
- ② 「気持ち良いあいさつ」「適切な言葉づかい」は生徒と教師の間でその評価が分かれているようであるが、中学生は、地域の人たちに対してしっかりあいさつができています。逆に大人がしていないケースもある。自然体でやれることが大切。
- ③ 「区域外就学の生徒の実態。また、どのような理由で芦安中へ来たのか。」 → 全校生徒20名中8名が芦安地区外から、親の送迎などで通ってきている。通っている生徒は芦安中に来てよかったと思っている。本校を選んだ理由は、「英会話科に興味があったから」他に「豊かな自然の中での生活を望んで」「小規模校だから」など。

### (4) 今後の芦安地区の教育のあり方について

- ① 今までの取組を継続し、さらに発展させてほしい。
- ② 小中の連携をさらに深めていってほしい。
- ③ 地域の活性化に向け、教育課程（英会話科）だけでなく、住みたくなる様な条件整備（住居・交通網）を考えていくことが必要ではないか。
- ④ 人口減少が心配されるが、子どもの中には将来この地に戻ってきたいと考える子もいる。こうなってくれるとありがたい。

## 6 分析・評価

芦安地区学校関係者評価委員会において、「学校経営方針」「学校グランドデザイン」に沿って行われた自己評価（職員・生徒）の項目から、達成度や充実度にバラつきがあるが、全体的に調和のとれた教育活動が進められていることが確認できた。いろいろな生徒がいる中で、評価が高かった項目は今後も伸ばしていき、課題となった項目については2学期以降の重点指導項目として、改善につとめてほしい。